伝統的な技能・工芸・文化に貢献 初雁賞を受賞した皆さんです



川越市は、大正11年12月1日に県内で初めて市制 を施行し、ことしで85周年を迎えました。この意義あ る節目の年に当たり、12月1日の市民の日に、平成 19年度川越市表彰式がやまぶき会館で行われました。

初雁賞とは、長年にわたり研さんを重ね、川越の貴 重な文化などの継承と発展に貢献された方を顕彰する ものです。今回は、次の12人の皆さんが受賞しました (50音順)。

問い合わせ…秘書室・正224-5491



小 (80歳/仙波町二丁目) 泉 功さん

(考古学 郷土川越に関する著作物を 多数執筆し、積極的に講演活動を行うなど、川越の歴史と

した。

加藤り (71歳/春日部市) 康さん 製桐造た 職ん

川越名産・桐たんすの組み 立ての高度な技術・技法を保 持。天皇、皇后両陛下のご成 婚の際の桐たんすを製造しま います。



井上浩さん (76歳/岸町二丁目) 文化史研究家

サツマイモの文化史の研究 や著書を通じて、全国に川越をPRするなど、市の知名度 の向上に多大なる貢献をして



伊ぃ (54歳/石原町一丁目 藤守さん 鋸鍛冶師

鋸の製造 ・修理 ・目立てに 優れ、一貫して手作業にこだ わるなど、その技術力には定 評があり、全国的にも高く評 価されています。



文化財を次世代に伝承する重

要な役割を担っています。

土金富之助さ 87歳/新富町 一丁目 研観 究光 家 化

宮がおか

正

川越の歴史・文化の紹介に 努め、「小江戸川越」の呼称の 周知に尽力。また、川越まつ りの発展や市の知名度向上に 多大なる貢献をしました。



長唄 ・松島流の名取「松島 寿美笹」として、長唄の川越」を伝承し、江 「四季 江戸情緒 ただよう小江戸川越の文化を 今日まで受け継いでいます。



洗練された美意識と高度な 技術を保持し、市の歴史的環境と一体となった個性あふれ る庭の創作・保全に努めてい



小杉亘さん

日本の伝統美の象徴である 着物を仕立てる和裁士として、 川越の文化を支えるとともに、 後継者の育成に尽力し、和裁 技術の伝承に努めています。



郎 さん 研歴究史 家文 化

川越の歴史・文化を次世代 に伝承する重要な役割を担う とともに、川越のシンボルで ある「時の鐘」の維持・保存 に尽力しています。



半世紀以上にわたる映画の 上映を通じ、文化の向上に力 を注ぎました。後継者の育成 にも尽力し、映写技術の伝承 に努めています。



明治後期から川越で作られ 始めた、まゆ毛と耳の部分に 金色で「寿」の文字が入るの が特徴の川越だるま作りを、 市内で唯一伝承しています。



土まる屋や (63歳/大手町) 男さん 師ち ようちん

ちょうちん作りの伝統を守 り続けるとともに、川越まつ りや市内各種の祭礼・伝統行 事を支える重要な役割を担っ ています。

川越城築城550年記念

12月1日の市民の日に、やまぶき会館で行われた「獅 子舞合同演舞会」。市内6つの獅子舞保存会の皆さんと、 江戸時代に川越から若狭小浜(現在の小浜市)に移された 獅子舞を起源とする、雲浜獅子保存会の皆さんが一同に集 まりました。城下町川越で綿々と受け継がれたきた獅子舞 と久しぶりに里帰りした獅子舞。その華麗で躍動感あふれ る獅子と、会場に響き渡る太鼓や笛の音……。会場の皆さ んは、伝統芸能の世界に引き込まれていました。

問い合わせ…文化財保護課・TL224-6097



雌獅子を巡る雄獅子たちの争いを表現。ひょっとこが雄獅子た ちを先導します





激しく頭を振る様子は、大迫力! 雲浜獅子の起源である石原 のささら獅子舞。雲浜獅子に久しぶりに会えて、うれしそう





テンポよく踊る獅子に合わせてなびく、青・赤・黄の たてがみが鮮やか!





あおいの紋章が入った麻幕と、「さおがかりの舞」があるのが特徴です